たいき 議会だより

No.206
2026
令和８年
10月発行



表紙は、第53回大樹町町民大盆踊り大会のこども盆踊り大会の様子です。
色鮮やかな浴衣をまとい、ご家族やお友達と輪になって踊る子どもたちの姿に、周囲で見守る大人たちの顔にも思わず笑みがこぼれます。
大樹町の夏の風物詩の一コマです。

第３回定例会　子育て世帯を支援する事業を実施 ……P２～３
決　算　認　定　令和７年度決算審査特別委員会にて徹底審議 …P４～５
一　般　質　問　４名の議員が４項目を問う ……P６～８
「合同納骨塚（合葬墓）の進捗状況について」「再生可能エネルギーの利用推進について」など

発行／北海道大樹町議会
編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

世帯を支援 業を実施！

▲詳しくはこちら！

条例の一部改正や
補正予算など
23件を審議！！

9月7日から10日の4日間にわたり開催された、決算審査特別委員会での白熱議論を経て

令和７年度の各会計決算を認定



令和７年度決算認定	歳入総額	歳出総額
大樹町一般会計	105億7,696万6,746円	100億3,606万8,992円
大樹町国民健康保険事業特別会計	6億3,089万4,895円	6億2,650万3,224円
大樹町後期高齢者医療特別会計	1億1,337万5,903円	1億1,325万7,905円
大樹町介護保険特別会計	7億7,266万4,850円	7億4,806万3,202円
大樹町介護サービス事業特別会計	4億4,117万4,885円	4億2,170万　381円
大樹町水道事業会計	5億5,006万8,660円	6億8,368万5,344円
大樹町立国民健康保険病院事業会計	10億9,536万9,477円	10億8,620万6,433円
大樹町下水道事業会計	3億4,384万　336円	4億4,752万　934円

この決算額には子育て支援等の拡充や、道路の補修工事、防災対策の強化など町民の皆さまの暮らしに直結する様々な取組が含まれています。

これらの事業が着実に進められたことを、議会としても確認しました。

監査委員審査意見書

９月１日の定例会初日、北林代表監査委員から地方自治法に基づく審査結果が公表されました。内容は以下のとおりです。



北林 博美 代表監査委員

令和７年度一般会計・他各特別会計及び公営企業会計の決算審査は、関係諸帳簿及び証拠書類の照合と、住民福祉の増進という町行政の本旨に沿い執行されているかを延べ16日間で審査した。

いずれの調書においても法令に準拠して作成、所定の期間内に提出されている。計数に誤りはなく正確であり、かつ関係法令にも適合し、予算の執行も概ね適切に行われたものと認める。

意見書の提出

常任委員会で審議された意見書は定例会最終日に全会一致で採択し、後日、関係大臣に意見書を提出しました。



国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書

計画的かつ長期安定的な道路整備や維持管理が進められるよう、必要な予算を確保すること。

耐震補強等の機能強化など、災害に強い道路ネットワークの整備を推進すること。

その他、国土強靭化の取組をより一層推進するための事項を要望する。

地方財政の充実・強化に関する意見書

2027年度政府予算及び地方財政の検討にあたっても、物価高騰や賃金上昇に伴う行政コストの増大を的確に反映し、社会全体で求められている賃上げ基調と相応する人件費の確保をはじめ、一般財源総額のさらなる充実が図られる地方財政を実現するよう要望する。

第３回定例会 議案審議 9月1日~9月11日開催 子育て事

９月１日　定例会初日

一般会計予算 **7,837万3,000円** を追加補正

北海道スペースポートの整備

北海道スペースポート整備事業

事業の円滑な執行を期すため、LC１射場施設内道路の舗装設計業務を本年度に前倒し実施することによる費用、およびコンセッション総合アドバイザー業務委託料を増額補正。



子育て世帯支援事業の実施

子育て世帯支援事業



エネルギー、食料品価格等の物価高騰による子育て世帯の負担の軽減を図り、且つ地域経済の活性化のために、平成20年4月2日以降に生まれたお子様を有する世帯に町内で利用できる商品券を配付する費用を増額補正。（12月頃郵送予定）

■配布対象
令和８年12月１日から令和８年12月31日までの間に大樹町に住民登録があり、且つ平成20年４月２日以降に産まれたお子様
■配布内容
お子様１人につき１万円分を配布する

旧海洋センタープールの解体

学童保育所・児童館建設事業

跡地に学童保育所・児童館が建設予定である旧海洋センタープールの解体工事費などを増額。



旧海洋センタープール

北海道スペースポート運営権者の設定



名　　称	公共施設等運営権者	運営権の存続期間
北海道スペースポート（多目的航空公園）	SPACE COTAN 株式会社 代表取締役社長兼CEO 小田切 義憲	設定日から15年間（延長可能）

審査特別委員会

▲詳しくはこちら！

辻本議選監査委員を除く10名で徹底審議！

認定しました。このページでは、委員会での質疑と答弁の一部を掲載しています。





各補助金の費用対効果の検証と報告を

問　安田 清之 委員

農業や商工業など各種団体への補助金は、出しっぱなしにせず費用対効果をしっかり検証し、成果を町民へ報告すべきでは。

答　黒川町長

支援後に成果が上がっているか周知することは非常に重要だ。ふるさと納税の使い道の報告と同様に、今後は成果の報告を主体に行っていきたい。

移住者支援の継続が必要では

問　播間 章浩 委員

定住・移住者支援の観点や住宅の新築価格高騰、金利の上昇などの影響を勘案しての大樹でかなえるマイホーム補助金の継続が必要と考えるが、町長の考えを伺う。

答　黒川町長

新築価格高騰に加え、金利の上昇も見込まれるため、令和９年３月以降も継続していく考え。内容については今後、検討を行っていく。

大樹高校の存続に向けて魅力アップを

問　吉岡 信弘 委員

大樹高校の存続は危機的状況にあり非常に心配している。大樹高校の魅力アップが必要で、台湾見学旅行費用の増額・全額負担やアメリカの航空宇宙関連施設への派遣などを新年度予算に盛り込み、PRしていただきたい。

答　黒川町長

見学旅行の負担軽減や宇宙関連施設への海外派遣等、重要であると考えるため、十分に検討、協議をしていく。

開町100周年の記念誌発行について

問　菅　　敏範 委員

開町100周年という大きな節目であり、記念誌ではなく町史を発行すべきでは。また掲載内容は。

答　黒川町長

本格的な町史の編さんには数年を要し、時間的制約があるため今回は記念誌とする。内容は、過去70年間は主要な出来事を掲載し、直近30年間の歩みを詳しく記載する予定。

一般会計決算

志民 和義 委員

滞納整理については、日頃から町職員が力を合わせ高い収納率を上げている。
住民の問題は、住民の事情をよく知っている町職員で解決していくことが重要。
また、昨年度は滞納整理機構への委託案件は０件であったことから、滞納整理機構への委託は必要ないと考える。よって、本案に反対する。

反対討論

特別会計決算 後期高齢者医療

志民 和義 委員

後期高齢者医療制度は、発足当初から高齢者を区別することになるとの批判が多く、かつての老人保健制度による事業運営で問題がなかったと考える。
よって、本案に反対する。

反対討論

※今回、賛成討論はありませんでした。

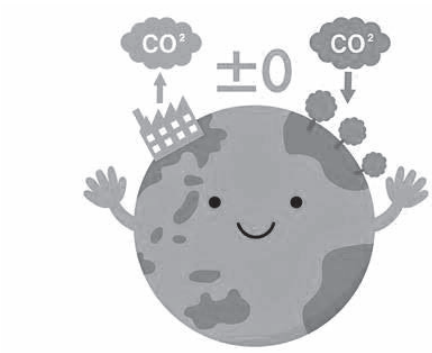


船戸 健二 委員長

令和７年度決算

９月７日～９月10日開催　齊藤議長と

令和７年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の８会計の決算について審議し、





ゼロカーボンの推進に向けた取り組みについて

問　寺嶋 誠一 委員

ゼロカーボン推進協議会は予算で２回開催予定が１回しか実施されていない理由と内訳を伺う。

答　黒川町長

予算上では２回開催分を措置しているが、年１回以上が基本。今年度はアドバイザー１名のWEB参加や欠席者により、委員報酬は出席者１名あたり4,400円×４名分＝17,600円となった。

就学援助費について伺う

問　西田 輝樹 委員

就学援助費の認定手順と申請を支援する関係団体の確認について。

答　学校教育課長

学校を通じてチラシを配布するほか、新入生においては家庭への周知も行っている。また、民生委員の定例会議においても制度の周知を行っている。

がん患者の支援を増設しては

問　西山 弘志 委員

がん患者の方の心理的および経済的負担を軽減し、自分らしい日常生活を応援するため、医療用ウィッグや胸部補正具、補正下着などの支援について。

答　黒川町長

そのような要請を聞いたことがなかったため、どの程度ニーズがあるか等も踏まえ、今後担当課と検討していく。

生じゃがいも輸入に対する町の対策について

問　志民 和義 委員

農産物の自給率向上に関連し、生じゃがいも輸入の動きは大きな問題だ。種子用馬鈴薯の生産地である本町に直接影響するが、対策は。

答　黒川町長

本町は種芋の産地であり、シスト線虫が侵入すれば栽培ができなくなる死活問題のため断固反対の立場である。町村会等を通じ要請を行う。

表決の分かれた議案

※船戸委員長は表決に参加しません

議案名	播間章浩	寺嶋誠一	吉岡信弘	西山弘志	船戸健二	杉森俊行	西田輝樹	安田清之	志民和義	菅敏範	結果
令和７年度大樹町一般会計決算認定	○	○	○	○	－	○	○	○	×	○	原案可決
令和７年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	－	○	○	○	×	○	原案可決

第3回定例会　一般質問

4名の議員が
4項目について質問

町民の声を町政に届ける

西山 弘志 議員　P6
◎合同納骨塚（合葬墓）の進捗状況について

吉岡 信弘 議員　P7
◎一般照明用蛍光灯のLED化について

寺嶋 誠一 議員　P7
◎大樹町の再生可能エネルギーの利用推進について

志民 和義 議員　P8
◎小水力発電の導入について



※内容は要約して掲載しています。詳しくは、二次元コードより議会中継をご覧ください。

◆一般質問とは◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・質問時間は30分
大樹町議会では、議員が質問できる時間は一問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式
議員と町長が対面して、一つ質問をして、一つ回答をします。

・事前通告
質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・登壇順（質問順）
原則として、通告書の提出順に質問します。

ここが聞きたい！　一般質問

質問　合葬墓に関する町民アンケートの結果、67%が賛成しているが

答　現時点では、早急な整備は考えていない



西山（にしやま） 弘志（ひろし） 議員

Q1 合同納骨塚（合葬墓）の進捗状況について

質問　近年、過疎化や核家族化、少子高齢化が進み、単身者世帯や夫婦のみの世帯が増え、お墓や納骨堂の管理の継承者不足や維持管理が困難になるなど、お墓や納骨堂を取り巻く環境が大きく変化している。町では合葬墓に関する町民アンケートを行い、67%が賛成という結果であった。その結果を踏まえ、今後の合同納骨塚の進捗状況について伺う。

答（黒川町長）　合同納骨塚が「必要」との回答が67%、「整備した場合に利用する」が37%であり、現時点では、早急な整備は考えていない。反面、少子高齢化や核家族化の一層の進行に伴い、合同納骨塚の整備に対する要望は今後も増えると考えられるため、整備されている施設の内容や運営方法などの情報を収集し、現場視察を行う予定である。町における整備の方向性について検討する。

質問　町に寄せられた意見を参考に、近隣町村における合葬墓の整備状況などを踏まえ、今後どのような検討を進めていくのか。

答（黒川町長）　他の自治体の例も見ながら検討していきたい。

質問　町の令和7年度の出生数は26人、死亡者数は103人であり、これでは維持管理が大変難しいと思う。以前、町長はお寺と相談しながら対策を考えるとおっしゃっていたが、お寺との相談内容について伺う。

答（黒川町長）　お寺との相談は、今回のアンケート結果を踏まえた上で、実施していきたいと思っている。

質問　今、合葬墓は全国的に注目されており、町にとっても必要な施設だと考えている。早急にではなく、今後を見据えて検討していただきたい。

答（黒川町長）　やる、やらないも含めて、今後協議して参りたい。



吉岡（よしおか） 信弘（のぶひろ） 議員

質問 蛍光灯のLED化、高齢者にわかりやすい周知を

答 警察と相談、わかりやすく周知する

Q1 一般照明蛍光灯のLED化について

質問 水銀使用製品である蛍光灯は、一般照明用蛍光灯の製造・輸出入は2027年末で終了し、LED照明への切り替えが必要となる。規制開始後も現在家庭で使用中や在庫の蛍光灯は継続して使用できる。これらの町民に対する周知は。

答（黒川町長） 国や家電メーカーなどが全国的に周知しているが、町も広報紙やホームページで周知を図る。

質問 こういう切り替え時期には、独居老人世帯などに不安をあおる業者の訪問が心配される、家族、町の電気屋さん、役場などに相談するなど、特に高齢者にわかりやすい内容で周知してほしい。

答（黒川町長） 悪質営業的な者がきても、すぐ決めないで「家族や知人に相談する」、「使っている蛍光灯は使えるうちは使っていいですよ」など、警察と相談し、わかりやすく具体的内容で周知する。

質問 第6期大樹町総合計画前期実施計画では、公共施設照明のLED改修工事の年度別計画が示されているが、現在までの改修状況と今後の改修計画は。

答（黒川町長） 令和7年度までに下水終末処理場、住吉・坂下浄水場、街灯、スケートリンク、町立病院、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンターが終了、今年度はテニスコート、小学校を行う。計画の71％が終了しており、中学校など未実施の施設も引き続き全て改修する。

質問 前期計画に未記載の中島・歴舟の両避難所、尾田地区行政会館など公共施設のLED化は。

答（黒川町長） 避難所は、現時点では、LED化より冷房施設が必要との考えがあり、今後順番等を検討し決めていきたい。



寺嶋（てらしま） 誠一（せいいち） 議員

質問 大樹町の再生可能エネルギー利用推進について

答 令和５年策定の再生可能エネルギー導入計画で推進している

Q1 再生可能エネルギー資源利活用は地産地消で脱炭素と地域活性化の両立

質問 木質チップボイラーの導入は、晩成温泉とスマート街区位置付けの木質バイオマスの二カ所ですが、今後の利用推進（増設）について。

答（黒川町長） 今後の増設について川南地区に2か所整備することを想定しているが、供給対象施設や設備更新の必要性、他の再生可能エネルギーの利活用の可能性を含めた見直しを優先し、増設等について具体的な検討に至っていません。

質問 再生可能エネルギーの利活用は、脱炭素の効果だけでなくエネルギー資源の地産地消で一挙両得の効果があります。積極的に利活用を増やすべきではありませんか。

答（黒川町長） 木質チップボイラーは主に暖房としての活用であり、今後は冷房も考えなくてはならない。更にコスト面で通常の燃料の3倍であり現時点で総合的に検討している。

質問 町の基幹産業である酪農業において発生するメタンガス活用のLBMがありますが、このLBMの利活用推進について。

答（黒川町長） LBMの利活用推進は、現在ロケット「ZERO」の燃料として採用されており、糞尿処理や臭気問題の解決、温室効果ガスの削減など本町の地域課題を解決する大変有効な手段であると認識しているが、都市ガスの10倍の単価となるため、コスト面で利活用は苦悩している状況。

質問 大樹町の再生可能エネルギーは、現在使用エネルギーの約10倍のポテンシャルがあるとのことです。ゼロカーボン推進協議会の活性化が急務だと考えるが。

答（黒川町長） ゼロカーボン推進協議会は年に1回程度大学アドバイザーを招いて実施している。今後は実用性を重視し、他町村等の先進事例を参考にして、メタンガスの利活用や木質バイオマスの利活用等、再生可能エネルギー導入計画に基づき総合的に検討します。

質問 十勝中部広域水道企業団から受水の時に発電機を設置してはどうか

答 受水に伴う調査を行う中で検討していく



志民（したみ） 和義（かずよし） 議員

Q1 小水力発電の導入について

質問 小水力発電は二酸化炭素を排出しない安定したクリーンエネルギーであり、導入する地域が増えています。大樹町では今後、十勝中部広域水道企業団からの受水が検討されていますが、その送水管に発電機を設置し、クリーンエネルギーを導入してはどうかと町長の見解を伺います。他地域では送水管を活用した実績もあり、売電と自家消費を組み合わせた活用も進んでいます。早急な導入検討を求めます。

答（黒川町長） 令和4年度に策定した「大樹町再生可能エネルギー導入計画」において、小水力発電の検討を施策の一つに位置付けています。十勝中部広域水道企業団からの受水に向けた調査・設計の段階に入る中で、小水力発電の導入効果についても併せて検討する予定です。

質問 受水に向けた移行の段階において、ぜひ前向きに早急な検討をお願いしたい。

答（黒川町長） 現時点ではまだ送水の設計段階に入っておらず、すぐに調査結果を出せる状況ではありませんが、今後、受水に伴う調査を行う中で、発電の可能性についてもしっかりと見極めていきたいと考えています。



議会議員15年！



齊藤　徹　議長
菅　敏範　副議長
西田　輝樹　議員　が
北海道町村議会議長会
自治功労者表彰を
受賞されました。

畜産基盤を守るため

町営牧場のあり方に関する調査特別委員会を設置

７月14日の第３回臨時会初日に、委員定数６名からなる町営牧場のあり方に関する調査特別委員会の設置について委員案が提出され、可決されました。

設置目的・目標

本委員会は、町営牧場の施設の老朽化や多額の更新費用といった課題、ならびに近年の酪農・畜産情勢の変化を受け、町営牧場の今後のあり方について、多角的な視点から調査・研究を行うために設置されました。



委　員

委 員 長：船戸　健二
副委員長：西田　輝樹
委　　員：安田　清之　　菅　　敏範
　　西山　弘志　　播間　章浩

YouTubeで議会中継をご覧いただけます！

**本会議や予算・決算特別委員会はライブ中継しています。
ライブ中継を見られない場合でも、録画中継をご覧いただけます。
スマートフォンやタブレット、パソコンなどで気軽に議会を傍聴できますので、ぜひご利用ください。
大樹町議会チャンネルをチャンネル登録すると、ライブ中継や録画中継が公開される際に通知を受け取ることができます。**



次の定例会は12月です

ぜひ気軽に傍聴にお越しください

詳細は議会事務局へお問い合わせください

TEL 6-5035

請願・陳情はどなたでもできます

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、国や町の事務などに関する請願・陳情を処理することとなっています。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として公の機関に対し、要望する行為で、紹介議員が必要となります。陳情も同様に扱われますが、紹介議員は必要ありません。

して　－議会活動報告－

名古屋市にて議員道外研修を実施しました。

※内容を要約して掲載しています。

外　　研　　修

7/9、10　愛知県名古屋市（名古屋市におけるスタートアップ支援の先進事例視察）

STATION AIにて名古屋市におけるスタートアップ支援の先進事例について視察を行ってきました。人口減少や産業構造の変化に向き合う地方自治体にとっても、こうした「新しい挑戦を応援する仕組み」や「多様な人材がつながるコミュニティ」の視点は非常に重要です。大樹町の地域資源や宇宙関連などの強みと組み合わせ、持続可能なまちづくりにどう活かしていけるか、今後の議会活動や政策提言につなげてまいります。



STATION AIでの研修の様子

○船戸　健二 議員

北海道名古屋事務所は、企業誘致、観光PR、北海道産品・物産情報の発信、移住定住、U・Iターンの情報提供、愛知県近郊地域と北海道の企業や自治体を繋ぐ地域間交流の窓口等、名古屋圏の企業、観光客、消費者に北海道の地域の理解と普及促進等の役割を果たしている。

○吉岡　信弘 議員

北海道名古屋事務所は、中京圏を中心とする本州方面との連携強化を図ることを目的に設立されました。北海道への企業誘致の推進、観光誘致や移住・交流人口の拡大、北海道産品の販路拡大などが主な業務です。中京圏は自動車産業など製造業が集積し経済規模が大きいことや昔から物づくりが盛んであり、北海道としても重視しているため、職員が会社訪問し説明あるいは動向等の把握を行っています。近年の会社訪問では、大樹町の航空宇宙に関する取り組みに注目している会社が増えているとの話がありました。

○辻本　正雄　議員

北海道名古屋事務所は、中部圏における北海道の顔として、中日ビル内の全国物産観光センターに拠点を置き、観光誘致や物産品の販路拡大、企業進出・誘致等のPRや支援を精力的に展開していました。

質の高い議会をめざ

7月8日～10日の3日間、東京都、愛知県

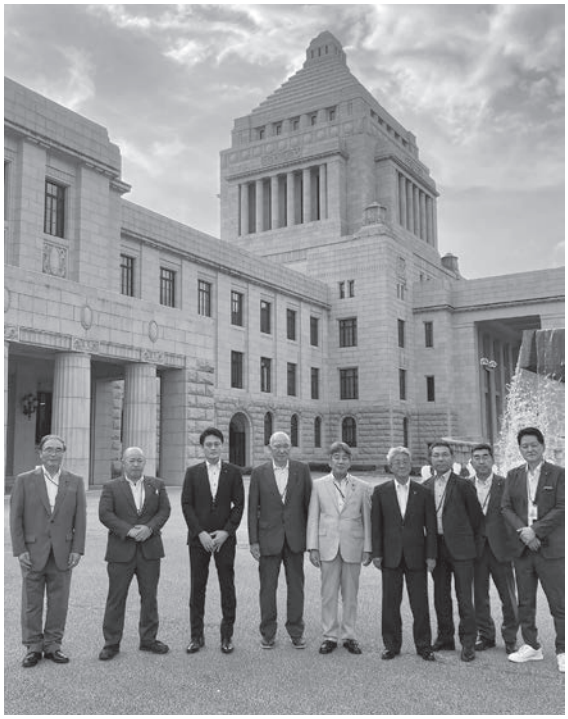
議　員　道

7/8　東京都（地元選出衆議院議員との意見交換）

衆議院第二議員会館にて、地元選出衆議院議員の中川紘一氏と意見交換を行いました。

大樹町の現在の取り組みや今後の展望についてお伝えし、国政における最新の動向や地方創生に向けた支援策などについて、直接お話を伺う貴重な機会となりました。


議員会館での懇談の様子



■議員報告

（上記のほか、北海道名古屋事務所等に表敬訪問しております。議員報告の一部を抜粋掲載しています。）

○播間　章浩 議員

STATION AIは、スタートアップ企業、大企業、金融機関、行政などが一つの施設に集まり、新たな事業や技術の創出をし、また、企業間のネットワークを形成することにより、企業支援、資金調達など幅広いサポートを行っていた。今回の視察では、単なるオフィスの提供ではなく、人と企業をつなぐ仕組みが重要であると感じた。大樹町においても、宇宙関連企業を核として、地元企業、行政が連携するネットワークづくりを進め、スタートアップ企業の育成をはかることで、新たな雇用創出や地域産業の活性化につながる可能性があると感じた。

○齊藤　　徹 議長

スタートアップ支援メニューを用意し、コミュニティを土台とし専門的な個社支援を提供している。1980年代から官民一体となって「宇宙のまちづくり」を進めてきている。今後、地方創出推進交付金を活用した「宇宙のまちづくり推進事業」が加速していくなか、大樹町においても新たな企業進出が考えられる。町政を進めていくなか、町周辺・射場周辺等のインフラ整備が注視と今後考えられる。

して　－委員会活動報告－

※内容を要約して掲載しています。

広報広聴常任委員会｜委員研修会（8/18）

研修目的　**議会だよりの編集に係る知識と技能の習得を行うため、北海道町村議会議長会 議会広報研修会に参加**

ホテルポールスター札幌にて行われた議会広報研修会に委員３名が参加しました。

■講演内容

講師：議会広報サポーター　芳野 政明 氏

『議会の見える化＆住民との信頼関係　―議会広報の基本と編集―』

・議会広報の課題は、読みやすく、伝わり、つながる、議会の「見える化」である。町民に「知らせ」「報告」するだけでなく、町民に行動を促し、参画することが議会広報のゴールである。
・興味・関心を喚起する企画テーマ・切り口から、読まれる紙面をつくるために編集のスキルアップを目指す。

『議会広報クリニック』

・他町村にて発行されている議会広報を添削し、先の講演で挙げられた手法をどのように活かすか話された。（対象町村…豊富町、津別町、遠軽町、本別町、標津町）
・発行目的にそった企画・編集になっているか、読みやすさ、わかりやすさへの編集技術はあるか等が評価の目安・基準となる。

■議員報告　（一部抜粋）

○吉岡　信弘 委員長

・議会だよりは、議案審議・議決の経過を伝える、議会傍聴、意見交換会への参加を促す、議会や行政に関心を持つ住民を増やす、広報紙閲覧率等を高めるという役割がある。
・「読まれる議会だより」になることが重要であり、住民が「読みたくなる広報」への工夫・進化を。

○辻本　正雄 委員

講演では、議会広報は議会の透明性を確保する情報提供（広報）、住民の意見の把握（公聴）を通じ住民と議会を結ぶ架け橋として地方自治の重要なツールである。
議会広報クリニックにおいては、読みやすく、わかりやすい編集技術について講演、住民が手に取りたくなる表紙、読みやすい記事、的確で目立つ見出し、読みやすいフォーマット、メリハリのあるレイアウトなどについて、議会だよりの講評を交え解説をいただき大変勉強になりました。

○西田　輝樹 委員

久しぶりの広報研修での中で各町村の特徴ある広報編集を学びましたが、それ以上に基本原則として以下のことを大切に感じました。

1）議会広報の課題は、議会の見える化である
2）優秀紙共通点
3）読まれる議会だより
4）議会広報３つの主要な役割
　説明責任（情報提供）
　民意の反映（公聴機能）
　監視・参加の促進（自治の推進）



暮らしやすいまちをめざ

経済常任委員会 ｜ 道の駅の運営について（所管事務調査、行政視察）

調査目的

道の駅コスモール大樹について、現状の運営状況、施設の老朽化対応、所有権整理の進捗、および魅力アップ検討委員会の提言に対する町の対応方針等を調査し、将来に向けた方向性を検討する。

■調査報告

1．現状の課題

・運営と財務：商工会の努力で売上等は微増だが、自立運営の目標や改善策が乏しく、依然として町から補助金を投入。
・施設と権利：老朽化（漏水リスク等）や設備の耐用年数経過が顕著で、将来多額の修繕費が必要。所有権の整理も未解決。
・情報共有：検討委員会の提言後、具体的な方向性や進捗の「見える化」が不足しており、不透明な状況。

2．委員会からの提言・方向性

・中長期計画の確立：新築移転・大規模改修・現状維持の各選択肢を冷静に比較し、長期的な視点で方針を決定する。
・対話と透明化：行政単独で決めず、議会・商工会等と十分協議し、権利整理などの経緯を町民に分かりやすく提示する。
・自立的な運営体制の模索：町と商工会が協力し、NPOや民間参画も含めた財政的に自立可能な運営手法を慎重に議論する。
・結論の慎重化：多額の費用を伴うため、拙速な決定を避け、社会情勢やニーズを見極めた丁寧な議論を行う。

■委員報告　（一部抜粋）

○播間 章浩 委員

今回の視察を通じ、大樹町の道の駅についても、今後は施設をどのように維持するかだけではなく、どのように魅力アップする施設にするか、地域経済にどのような波及効果を生み出すかという視点が必要であると感じた。
特に、行政が施設管理を担う部分と、民間事業者等に任せる部分を明確にし、専門的な経営ノウハウを取り入れる必要があると考える。
今回、音更町、士幌町、本別町の3つの道の駅を視察し、道の駅の成功には、施設の規模や外観だけではなく、誰が、どのような考え方で運営するのかが極めて重要であることを実感した。

○船戸 健二 委員長

他の自治体の道の駅の多くは当町と同様、建替えや改修次期に差し掛かっている中で、その町独自の強み、町民要望を叶えることが重要である。一過性の観光客に依存しない町民利用の最大化を目標とした運営体制を構築することが重要だと考える。大樹町においてLC１射場の完成、今後もスペースポート計画と高規格道路の延伸等の影響と相乗効果、町民利用の拡大、将来的な影響を考慮する中で財政負担を考えると老朽化している既存の移設の改修利用等の可能性はありうるが狭い視野ではなく、大樹町にとって道の駅はどうあるべきかという本質的な部分を再検討することが必要である。
また、多くの選択肢の中には当然道の駅の廃止も含まれると私は考える。



会議・行事出席状況

令和８年７月１日から９月30日までに行われた、会議や行事への出席状況をお知らせいたします。
行事については、議会へ案内のあったものを掲載しております。

○：出席　×：欠席　△：病欠　□：他公務
遅：遅参　早：早退　ー：対象外

開催日	会議・行事名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		播間	寺嶋	辻本	吉岡	西山	船戸	杉森	西田	安田	志民	菅	齊藤
7月 1日	戦没者追悼式	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
7月 3日	第11回広報広聴常任委員会	ー	ー	○	○	ー	ー	ー	○	○	○	○	ー
7月 7日	角田市議会総務産業常任委員会行政視察対応	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	○
7月 8日 7月 9日 7月10日	全議員研修会 （東京都、愛知県名古屋市）	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○
7月14日	第3回臨時議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第21回議会運営委員会	○	○	ー	○	ー	○	ー	ー	○	ー	○	○
	第1回町営牧場のあり方に関する調査特別委員会	○	ー	ー	ー	○	○	ー	○	○	ー	○	ー
	第16回経済常任委員会　所管事務調査	○	ー	ー	ー	○	○	ー	○	○	ー	ー	○
7月16日	千葉県議会自由民主党千葉県議会議員会視察対応	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	×
7月21日	農作物生育状況巡回調査	○	ー	ー	ー	×	○	ー	○	○	ー	ー	○
7月24日	第10回総務常任委員会　所管事務調査	ー	○	○	○	ー	ー	○	ー	ー	○	○	ー
7月27日	相模原市議会公明党相模原市議会行政視察対応	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	○
7月28日	経済常任委員会　行政視察	○	ー	ー	ー	○	○	ー	○	○	ー	ー	○
8月 5日	南十勝町村議会議員研修会	○	○	○	○	×	□	○	○	○	○	○	○
8月12日	町営牧場のあり方に関する調査特別委員会	○	ー	ー	ー	○	○	ー	○	○	ー	○	ー
8月13日	有縁無縁仏供養祭	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○
8月18日	北海道町村議会議長会　議会広報研修会	ー	ー	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	ー
	千葉県流山市議会自由民主党及び会派に所属しない議員行政視察対応	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	○
8月21日	第10回議会改革に関する調査特別委員会	○	○	ー	ー	ー	○	ー	○	○	ー	○	○
8月24日	議員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第22回議会運営委員会	○	○	ー	○	ー	○	ー	ー	○	ー	○	○
	第17回経済常任委員会	○	ー	ー	ー	○	○	ー	○	○	ー	ー	○
9月 1日	第３回定例議会　１日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第18回経済常任委員会	○	ー	ー	ー	○	○	ー	○	○	ー	ー	○
	第11回総務常任委員会	ー	○	○	○	ー	ー	○	ー	ー	○	○	ー
9月 3日	第３回定例議会　２日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第23回議会運営委員会	○	○	ー	○	ー	○	ー	ー	○	ー	○	○
9月 7日	決算審査特別委員会　１日目	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
9月 8日	決算審査特別委員会　２日目	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
	第12回総務常任委員会	ー	○	○	○	ー	ー	○	ー	ー	○	○	ー
9月 9日	決算審査特別委員会　３日目	○	○	ー	○	○	○	○	○	早	○	○	ー
9月10日	決算審査特別委員会　４日目	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	早	ー
9月11日	第３回定例議会　３日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
9月17日	敬老会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
9月19日	柏林公園まつりレセプション	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
9月20日	柏林公園まつり	○	×	ー	○	ー	○	ー	ー	○	ー	○	○

一目でわかる 審議結果

全会一致の議案

第３回臨時会	**大樹町農業委員会委員の任命** 委員に金曽浩文氏を選任することに同意。	適　任
	令和８年度大樹町一般会計補正予算（第３号） 歳入歳出それぞれ2億4,982万8千円を追加。	原案可決
	町営牧場のあり方に関する調査特別委員会の設置 町営牧場の今後のあり方に関する調査研究をするため、町営牧場のあり方に関する調査特別委員会を設置。	原案可決
第３回定例会	**令和７年度健全化判断比率** 監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告。	報告済
	令和７年度資金不足比率 監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告。	報告済
	教育委員会委員の任命 委員に石倉静佳氏を選任することに同意。	適　任
	大樹町の自然環境や景観資源と太陽光発電事業との調和に関する条例の制定 大樹町の自然環境や景観資源と太陽光発電事業との調和に関する条例を制定。	原案可決
	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更 浜大樹辺地に係る公共的施設の総合整備計画を変更。	原案可決
	公共施設等運営権の設定 北海道スペースポートの運営権者をSPACE COTAN株式会社に設定。	原案可決
	令和８年度大樹町一般会計補正予算（第４号） 歳入歳出それぞれ7,837万3千円を追加。	原案可決
	令和８年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第３号） 歳入歳出それぞれ1千円を追加。	原案可決
	令和８年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第３号） 歳入歳出それぞれ3,149万5千円を追加。	原案可決
	工事請負契約の締結 海洋監視レーダー整備工事の請負契約を2億3,100万円で締結。	原案可決
	令和７年度大樹町一般会計決算認定 令和７年度歳入105億7,696万6,746円、歳出100億3,606万8,992円の執行について認定。	認　定
	令和７年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算認定 令和７年度歳入6億3,089万4,895円、歳出6億2,650万3,224円の執行について認定。	認　定
	令和７年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定 令和７年度歳入1億1,337万5,903円、歳出1億1,325万7,905円の執行について認定。	認　定

次のページへ続く

第３回定例会	**令和７年度大樹町介護保険特別会計決算認定** 令和７年度歳入7億7,266万4,850円、歳出7億4,806万3,202円の執行について認定。	認　定
	令和７年度大樹町介護サービス事業特別会計決算認定 令和７年度歳入4億4,117万4,885円、歳出4億2,170万381円の執行について認定。	認　定
	令和７年度大樹町水道事業会計決算認定 令和７年度歳入5億5,006万8,660円、歳出6億8,368万5,344円の執行について認定。	認　定
	令和７年度大樹町立国民健康保険病院事業会計決算認定 令和７年度歳入10億9,536万9,477円、歳出10億8,620万6,433円の執行について認定。	認　定
	令和７年度大樹町下水道事業会計決算認定 令和７年度歳入3億4,384万336円、歳出4億4,752万934円の執行について認定。	認　定
	財産の処分 指名競争入札により立木を1,815万円で処分。	原案可決
	福祉センターの必要性についての議会の考え方を求める要望（陳情） 防災計画の見直しが完了し、福祉センターの機能が既存施設で代替えが可能であることから、現時点で改築・大規模リニューアルを町に求めることは適切ではないと判断し、不採択。	不採択
	「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出を求める陳情 2027年度以降の政府予算及び地方財政の検討にあたり、現在の社会情勢を的確に反映し、一般財源総額のさらなる充実を図られる地方財政を実現するよう求めるものであることから、採択。	採　択
	地方財政の充実・強化に関する意見書 2027年度以降の政府予算及び地方財政の検討にあたり、地方財源の確保・充実をはかること、必要な財政支援を行うことなどを求める。	原案可決
	国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書 道路整備・維持管理に必要な予算の確保、河川改修事業及び治水対策の推進などを求める。	原案可決

※１：5,000万円以上の工事請負契約の締結は議会の議決が必要です！
※２：予定価格700万円以上の財産の処分は議会の議決が必要です！

広報広聴常任委員会



委員長　吉岡信弘
副委員長　志民和義
委員　菅敏範
委員　安田清之
委員　西田輝樹
委員　辻本正雄

編集後記

今年は、列島各地で記録的な豪雨が相次ぎ、警戒レベル５が発令。大都市は、マンホールから電線に達する水柱、冠水した道路に立ち往生する車の映像、「命を守る行動を取ってください！」緊迫感のあるアナウンサーの呼びかけに、防災意識をアップデートした夏。

委員　辻本　正雄

この議会だよりは古紙配合率60％の
再生紙を使用しています。